

令和7年度

家屋に関する調査研究委員会
研究テーマ(案)について

令和7年6月17日

自治税務局
資産評価室

研究テーマ (案)

デジタル技術の活用について

<研究の目的>

① 既存の家屋評価システムにおける評価データの現状とその活用策

- ・ 家屋評価のあり方の検討に当たっては、地方団体における実際の評価データの収集・分析が不可欠であることから、システム事業者等の意見を聴取しながら、既存の家屋評価システムにおける評価データの現状を把握し、また、その活用に向けた方策について検討を行いたい。

② デジタルデータ (CAD・BIM等) の現状とその活用策

- ・ 固定資産税における家屋の評価方法については、これまで累次にわたり評点項目の整理統合など簡素化が図られてきたが、さらなる評価方法の簡素化・合理化が求められているところ。
- ・ そこで、家屋評価事務におけるデジタル技術の活用に向け、CAD・BIM等をはじめとしたデジタルデータの活用策や活用に向けた課題等について、建築分野におけるデジタルデータ活用の状況・将来像等を踏まえつつ、検討を行いたい。